

株式会社エステーリンク

代表取締役 齋藤 隆範 氏

燕市笈ヶ島1365-1

TEL.0256-97-4846 URL <https://www.st-link.co.jp>

NICO活用事業

- 2003、2008～2010年度 ゆめ・わざ・ものづくり支援事業
- 2015～2016年度 海外見本市等出展事業助成金
- 2017年度 中小企業等外国出願支援事業
- 2019年度 長岡モノづくりアカデミー
- 2022年度 イノベーション推進事業、DX「やる気」の県内企業育成事業 ほか

オリジナル商品開発や 海外見本市に挑戦

1973年に創業したエステーリンク（創業当時は齋藤鐵工）は、金属加工業向けの集塵装置の開発から始まり、精密板金溶接加工分野に進出。1984年には県内で初めてレーザー加工機を導入し、技術を磨いてきた。

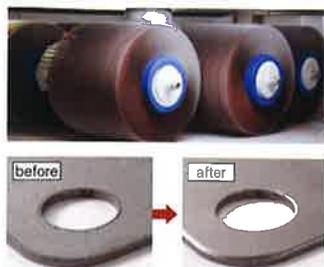
2003年には、それまで人の手に頼っていたバリ取り作業を機械化。NICOの「ゆめ・わざ・ものづくり支援事業」を活用し、オリジナルのバリ取り機「メタルエステ」を開発した。「メタルエステの開発に関しては、2003年に補助金を活用させていただきました。2015年頃には海外展示会への出展でお世話になりました。ベトナム、中国、タイなどの展示会に参加し、複数企業の共同出展という点でも、他社さんの様子を見て勉強になることが多かったです」と齋藤代表は話す。これまでに商品開発や外国の特許出願の支援、IoT活用による生産工程管理の改革などでNICOを活用。最近ではDX関連のセミナーに参加し、研鑽を積んでいる。



国内外の展示会に積極的に参加し営業・商談の軸としてきた。2015～2016年はNICOの支援を活用してアジア各国の展示会にも参加。



最新機種のバリ取り機「メタルエステ1000」は6本の研磨ブラシが回転しながら巡回し、多方向からパーツを研磨できる。他にも板金加工業者のニーズに応じた機種をラインナップ。食品加工機械、建設機械関連、自動車部品など幅広い業界で活用されている。



全ての挑戦は経験になる。
新しい挑戦と市場の
創造を続けていく



バリ取り機も大型空気清浄機も、ニッチな分野で他社が作らない商品です。新しいものを使ってもらうには「それを使うことが当たり前」になるような市場を創造する必要があります。いずれ競争も出てきますが、競合がいてこそ市場のレベルも上がります。

装置の設計プランニングから加工組み立てまで一貫してできる総合力を構築し、市場を切り拓いてきた。

一つ一つのトライアンドエラーが 今につながっている

NICOの支援やその成果について齋藤代表はこう話す。「『この支援があったからこれができた』という直接的な成果だけではなく、NICOさんの支援があることでトライアンドエラーが非常に回りやすいことが私たちにとっては大きいです。挑戦する意欲があってもお金の問題や、やり方が分からないことがあります。そこに支援をいただけるので思い切って挑戦できますし、結果が伴わなくても経験は確実に残ります。その一つ一つが今の事業に結びついています」。

今後は、集塵装置開発で培った「空気を操る」技術を活かして、広い生産工場で使える大型空気清浄機の開発に力を入れる予定だ。すでに他社からの引き合いもあり、開発製造対応が進んでいる。従業員の健康や作業環境の改善が求められる今の時代、ニーズが高まりそうだ。

「大事なものは市場の創造です」と話す齋藤代表。レーザー加工機をはじめ、バリ取り機も大型空気清浄機もいち早く開発を始めた。顧客の潜在ニーズを見出し、自社の強みや技術を掛け合わせながら、今後も新しい挑戦を続けていく。

MESSAGE

NICOに期待すること

20周年まことにおめでとうございます。長年に渡り、さまざまなセミナーや助成金の支援をいただけるのは、私たち企業にとって本当にありがたいことです。当社のさらなる前進に向けて、今後はDXやデザインなどの面で、外部の専門家の方をご紹介いただけたらうれしく思います。